

市内小学校における感染性胃腸炎の集団発生について

合志南小学校における児童等のノロウィルスが疑われる感染性胃腸炎の集団発生については、菊池保健所をはじめ、県及び本市の関係機関と協力しながら、原因の究明を行うとともに感染の拡大防止を図っております。現在、分かっているところでは以下のとおりです。

- 1 合志市学校給食センターについて
菊池保健所の立入調査により、食品衛生上問題ないことが確認済みです。
- 2 学校の水道水について
残留塩素濃度の検査で、適切な濃度であることが確認済みです。

なお、皆様には添付しています「感染性胃腸炎の感染予防について」を参照のうえ、予防等についてご協力をよろしくお願いします。

この情報に関するお問い合わせ

合志市教育委員会 学校教育課

TEL : 096-248-2366

【感染性胃腸炎の感染予防について】（熊本県健康危機管理課 資料より）

1. 感染経路

- 患者のノロウイルスが大量に含まれる便やおう吐物から人の手を介して感染します。
- 洗浄や消毒が不十分でウイルスが残っていた場合、乾燥して舞い上がったウイルスが口に入ることで感染します。
- 患者の便やおう吐物が人を介して食品を汚染し、その汚染された食品を食べて感染することがあります。
- 汚染された二枚貝を、加熱不十分で食べると感染します。

2. 予防方法

- 食事の前、トイレの後、オムツ等の処理の後、おう吐物の処理後には20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを励行しましょう。
※石けんを使用した十分な手洗いで、ウイルスを洗い流すことが重要です。
- 加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱しましょう（中心温度が85～90℃以上90秒以上）。
- 調理器具は十分な洗浄と消毒を行いましょう。
- 具合が悪い人（下痢・おう吐等の症状がある人）は、調理・配膳にかかわらないようにしましょう。

3. 症状等

ノロウイルスに感染すると下痢、おう吐等の症状が出ます。通常1～2日で回復しますが、乳幼児や高齢者等は、脱水症状を起こしたり、吐いた物を誤嚥し、肺炎を起こしたりすることがありますので、早めに医療機関を受診してください。

なお、症状がおさまった後も、1週間以上便中にウイルスの排出が続くことがありますので、注意が必要です。

4. おう吐物・便などの処理の注意点

処理をする際は、マスクや手袋を着用し、ペーパータオル等でおう吐物や便等をふき取り、ビニール袋などに入れ、しっかり封をして廃棄してください。汚染された場所（吐物が付着した場所、トイレなど）の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）が有効です。家庭用塩素系漂白剤の塩素濃度は約5%です。以下を目安にしてください。

	拭き取り用	つけおき用
必要な塩素濃度	200～250 ppm	1000 ppm
作り方	水1000 mlに対し ペットボトルのキャップ1杯	水1000 mlに対し ペットボトルのキャップ5杯